

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

小樽市立高等看護学院 実施報告書



実施主体 小樽市立高等看護学院

実施内容 令和5年9月27日に授業・演習・啓発活動

①事前に取り組んだ内容

看護師を目指す学生に対し、第1段階として『児童虐待の現状等について理解するための講義・グループワークを行った。』

②実施期間に取り組んだ具体的内容

第2段階として『かわいいマスコットをつけたオリジナルのオレンジリボンを作成』、第3段階として『グループワークを行い、児童虐待の現状などを伝える掲示物を作成』する。第4段階として『作成したオリジナルのオレンジリボンを活用した掲示物を作成』する。第5段階として『作成した作品を学内外に掲示』して、ソーシャルアクションを行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

児童虐待やオレンジリボン運動の意味を学ぶことで、看護師として、児童虐待を発見するための気づきとスキルを身につけ、そして発見をした場合への対応を学んだ。

また掲示物などを作成することで、どんな情報を社会に提供すべきなのか学び、整理するスキルも形成され、最後に発表会を行ったことで、看護師としてのソーシャルアクションのスキルも形成することができたはずである。

